

令和7年度指定管理者評価シート

1. 管理運営の状況等

(1)施設名	さいたま市産業文化センター					
(2)施設概要	①所在地 さいたま市中央区下落合5丁目4番3号 ②施設の設置目的 産業の振興及び市民の文化の向上と福祉の増進を図る。 ③施設の概要 昭和59年12月開館 鉄筋コンクリート造 地上5階地下1階 敷地面積 2419.60㎡ 延床面積 4058.184㎡ ホール(定員300名)、会議室301・302(定員各50名)、会議室303(定員30名)、和室(定員50名)、入居団体フロア、駐車場(有料)					
(3)指定管理者	毎日興業株式会社					
(4)指定期間、指定管理料	①指定期間 令和6年4月1日～令和11年3月31日 ②指定管理料(直近3か年) 令和5年度23,164千円、令和6年度22,402千円、令和7年度23,802千円					
(5)施設の管理運営の内容	①運営業務の状況(利用状況含む) ◇利用状況 ・利用者数 56,001人(前年度53,084人) ・稼働率 61.2%(前年度59.9%) ◇業務実施状況 ・施設の利用に関する業務 ・施設の管理及び運営に関する業務 ・施設及び設備の維持管理に関する業務 ・その他業務 ②維持管理業務の状況 ・総合管理業務の実施 ・清掃業務の実施 ・自家用電気工作物保安業務の実施 ・エレベーター設備保守点検の実施 ・消防設備保守業務の実施 ・空気調和設備保守業務の実施 ・汚水槽・排水槽・湧水槽清掃等業務の実施 ・貯水槽清掃業務の実施 ・駐車場機器保守業務の実施 ・自動ドア保守業務の実施 ・機械警備業務の実施 ・その他、仕様書で定められた保守管理業務の実施					
(6)収支状況	収入(費目)	収入(金額)	前年度	支出(費目)	支出(金額)	前年度
	利用料金収入	18,944千円	(18,723千円)	人件費	27,921千円	(28,721千円)
	指定管理料	23,802千円	(22,402千円)	事務費	1,255千円	(1,429千円)
	入居者光熱費	3,659千円	(3,947千円)	施設管理費	23,718千円	(25,220千円)
	入居者負担金	2,372千円	(2,015千円)	事業費	487千円	(330千円)
	その他収入	40千円	(27千円)			
	【自主事業】					
	収入	18,814千円	(17,721千円)	支出	18,819千円	(18,225千円)
(7)利用者アンケート等による市民からの意見・要望等への対応	・利用者からの意見を施設運営に活かしていくため、一般利用・自主事業共にアンケートを継続的に実施し、759人から回答を得た。(前年度比105.9%) ・指定管理期間(令和6年度から令和10年度)におけるアンケート5項目の「非常に良い」及び「良い」の合計95%以上の目標に対し、すべての項目について達成した。 ・以前は3階各会議室の空調についての意見が散見されていたが、空調設備修繕により指摘が解消された。 ・洋式トイレ増設の要望については、引き続き検討していく。					
(8)その他						

2. 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
LED照明の導入	期末(3月)にて部分改修が終了(地下1階から5階までの東側非常口誘導灯・1階事務所内照明・テナント1階浦和警察署(交番内)事務所照明)。その他箇所については、順次LED導入箇所を定め改修を行う予定。
キャッシュレス決済導入	システム構築のため、「Air ペイQR」・「セイコープリンター」・iPadを購入し準備済。今期中にて受付スタッフ教育を数回実施した。運用に向けての課題(決済種類絞り込み、売上システム変更等)を上げ検討を行い、決済種類については決定。売上システムの再確認を行い来期導入を行う。
自主事業の展開(自主事業講座促進・新規講座検討導入)	FP(ファイナンシャルプランナー)講座(2級)の再実施。新規講座として、オカリナ講座から展開のオカリナコンサート(ホール開催) 実施。更に合唱講座から展開による誤嚥性肺炎防止講座(ホール開催)実施。いずれも沢山の参加者が集まり、利用料金向上となった。今後自主事業講座として定期講座開催とする。
ホームページ更新	従来講座のクラス増加や上記各種コンサート開催にあたり、わかりやすい紹介チラシを作成し、開催時期に合わせホームページ上に載せ更新した。また、常に分かり易さ・見やすさを考え、利用者側の視線に立って作成・更新に心がけた。

3. 評価

(1)指定管理者による評価

①市民の平等利用、サービスの向上、利用促進について ・電話や受付窓口にて施設紹介や予約方法、各自講座説明及び周辺地域案内等、親切丁寧な接客を行い、「ホームページ」・「X」・「さいたま市報」・「案内パンフレット」を活用し、広く市民の皆様へ情報提供を行った。
②経費削減について ・支出実績は計画値に対して99%の実績。人件費は期間中の増員による費用増加。印刷製本費は複合機管理費とコピー用紙代の影響による。修繕費は館内設備の老朽化による改修。支払手数料は振込手数料が主なものである。水光熱費は、電気・水道・ガスの全てが使用量及び利用料共に計画値を下回ることができた。要因として、さいたま市よる3階・4階・5階のエアコン改修による電気料金・使用量が削減できたこと、こまめな運転管理と毎日の館内巡回を徹底した結果といえる。
③適正な管理運用の確保について ・館内巡回の徹底による危険箇所・破損個所の発見と即対応、安全衛生レポート作成による事業部及び館内スタッフとの情報共有や注意喚起を徹底した。また毎日興業警備システムによる24時間警備体制実施し、結果をさいたま市へ毎月報告し監視体制を継続している。 ・CS会議(顧客満足向上)を年4回実施し、スタッフ研修(顧客満足/人権擁護/個人情報保護)を行い、業務意識向上と施設運営体制に務めた。 ・館内ロビーに利用者アンケート結果(集計)を掲示し、毎月のアンケート内容を把握し利用者からの意見をスタッフ間で共有している。また、改善できた内容は事務所内連絡シートにて広報し、清掃や駐車場スタッフも含めスタッフ全体の情報共有を図った。

(2)さいたま市の評価(評価担当課:経済局商工観光部経済政策課)

総合評価 (B) ※A～D
1 項目別の評価
①市民の平等利用、サービスの向上、利用促進について ・施設の利用予約は、さいたま市公共施設予約システムを活用し、予約(空き)状況を公開しており、すべての利用登録者に対して、公平な予約体制が確保されている。 ・窓口対応において、施設紹介や予約方法、自主事業の講座の説明などを親切丁寧に行っており、利用者に安心感と信頼を与えられている。 ・利用者数は、令和6年度の53,084人から令和7年度は56,001人へ増加しており、前年度比105%以上の伸びが見られる。 ・自主事業についても受講者数が増加しており、新規講座の開設やクラス増設、駅配架ラック等による広報活動の強化により利用促進が図られている。 ・利用者アンケートの回答は、「非常に良い」及び「良い」の合計が全項目で95%を上回り、市民サービスの向上や利用促進に関する取組の実績として評価できる。
②経費削減について ・印刷製本費の増加は、市内配架ラックや近隣施設等への自主事業講座の広報活動を積極的に展開した結果であり、施設利用促進に向けた前向きな支出と評価できる。 ・事務費については、事務用品費を中心とした支出の見直し等により経費削減が図られている。 ・光熱水費については、館内巡回の徹底や空調設備のこまめな運転管理、消忘れ防止等の取組を継続した結果、エネルギー使用量は前年と比較して減少しており、日常的な管理による経費節減が図られている。
③適正な管理運用の確保について ・施設設備の法定点検については、仕様書及び関連法令に基づき適切に実施されており、維持管理業務は計画どおり履行されている。 ・館内巡回や安全管理ミーティングの実施により、危険箇所の把握やヒヤリハット事例の共有が行われており、安全対策が継続的に講じられている。 ・職員体制については、常勤・非常勤を含め適切に配置されており、CS研修、人権研修、安全管理研修等が定期的に行われていることから、運営体制は安定している。
2 総合評価 ・各項目において、適正な管理が行われており、市が求める水準を満たしていることから総合評価をBとした。

(3)来年度の管理運営に対する指導事項等

今後も市民の目線に寄り添い、利用者満足度の高い施設運営を継続するとともに、施設利用者の増加に向けた情報発信を引き続き推進していくこと。また、必要に応じて施設の修繕を適切に実施することで、安全かつ安心して利用できる施設環境の維持に努めること。
--